

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
<http://saitokuji.tobihiro.jp/>
発行人 大谷 義博
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



暮らしの中の仏教



千束幼稚園年忘れの会 たき火

今月の予定

2月に開催予定でありました聞法会等の各種行事は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、開催を見送らせていただきます。

また、ブロック聞法会に関しましては年度末(3月末)までの開催を見送ります。

参加を予定していただいていた皆様には大変申し訳ございませんが、何とぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、お墓参り、ご法事等は通常通りしていただけます。感染対策を行った上でご来寺ください。

※ご不明な点、お困りの事がありましたら、寺務所までお問合せください。



2月の山門の言葉

信頼は 時間を超える



今回掲げた言葉は、林業を通し受け継がれた信頼をテーマにした映画「WOOD JOB」を鑑賞し、私を感じたことを表した言葉だ。

映画の中で親方が、「林業でいい仕事をしたかどうかの結果が出るのは、俺たちの死んだ後だ」、「爺さんの植えた木が、今の俺たちを支えている」と、林業の仕事について語る場面があり、考えさせられるものがあった。

改めて私の日常生活を振り返ってみると、「直ぐに」と「私の為に」という自己中心的な思いが強く、合理的な暮らしを求めていたことに気づかされる。

私が驚くのは、現時点での仕事を自分の手柄にするのではなく、未来に託していくこの姿勢が、なんとも格好よくもあり、伝統されていく強さでもあるように感じたことだ。

私たちのご先祖も、長い長い時間を超えて、「どんな姿勢で生きていますか?」と、私たちの姿を問いかけ、案じて下さっているのではないか。

(大橋 伊知郎 記)



一月に掲げた山門の言葉を皆さんはどう聞いたのか、お尋ねしました。



みんなは
こう聞いた!!

数年前に亡くなった叔母が生前に遺した言葉が、亡くなった後折々に思い出されることがあります。死んだら終わりではなくて、ずっと関係は続いているんだと、この言葉を見てあらためて感じます。

(30代男性・会社員)



去年、私は父を亡くしました。「死人に口無し」という言葉は使いますが、最近、「死人に口はある」のではないかと考える時があります。死に直面した時は、その現実を受け入れる事に時間がかかり、後悔しても切りが無く、心残りは尽きません。けれども、ふとした瞬間に父の想いや言葉を思い出す時があり、それが答えを導き出してくれる時があります。父が死をもって教えを説いてくれたのではないかと。

父の死を心の糧として前に進む、それが私の役目であり恩返しになると思います。

(20代 男性)

新住職選任のご報告

令和2年12月末、前住職、脇阪義幸氏が退任されました。寺則に則り、顧問会・責任役員会を開き、総代会の承認を得て山崎哲氏を新住職に選任いたしました。

山崎氏は平成12年に西徳寺へ入寺され、華香所勤務から法務員となり21年間活躍されています。宗派としては、平成元年に得度、平成17年に住職研修、平成19年に布教使に任じられました。

経験・人徳も豊かで、代表役員・住職に最も相応しい人物であります。今後の期待大なるものあり、皆様のご協力をひとえにお願い申し上げます。

責任役員 今井 正之
川村 洋三
小田 周太朗
磯田 範雄

総代 土肥 一夫
川田 進
高木 繁雄
北島 勇
阿部 雅栄
高崎 紹典



期待されている若手住職の誕生

昨年から続くコロナ蔓延の騒ぎの中、大阪―東京を行き来されていた前住職脇阪師が12月23日をもって惜しまれて退職され、その後の後任者選出につき、総代会、顧問会、の協議を経て満場一致で、法務員の山崎哲師が推薦されました。職員全員の信望も厚く、ご門徒とのお付き合いも20年にわたるご縁の深さがあります。母の実家である北海道名寄市の佛光寺派光名寺の衆徒として得度し、駒沢大学を出て西徳寺に入寺し、本山での資格はすべて取得、才女の奥様に支えられて男児2人、女児2人の父親でもあります。今後の活躍に大いに期待をしております。ご門徒の皆様におかれましては、引き続きご指導の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

西徳寺顧問 大谷 義博

【防火に関するお願いと御礼】

令和3年1月2日(土)、本堂左脇のゴミ収集場所から火が上がりました。その場にいらっしゃった皆様によって、迅速に寺務所への報告・消火活動・周囲への警告をしていただき、ケガ人が出ることなく無事に消火することが出来ました。

消火活動を手伝って下さった皆様方には、改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。尚、出火原因は使用済み線香と他のゴミとが一緒に捨てられたことによって出火しております。

使用済み線香・ロウソク等は所定のゴミ箱(缶)に捨てていただきますようお願い申し上げます。

今後も皆様にご協力いただき、使用済みの線香・燃えるゴミ・燃えないゴミの分別を引き続き徹底していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

西徳寺職員一同

えこお志お礼

神奈川県 齊藤 祐三 様
武蔵野市 井手 しのぶ 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。



慶所聞

～よろこび合う生活～

以前、6才になる娘が壁に掛けてある遺影を指さし、「あの写真に写っているのは誰？」と聞いてきました。私が「おじいちゃんのお父さんだよ」と言うと、娘が続けて「その人は今どこにいるの？死んだらどこに行くの？」と尋ねます。私は少し困りながら、「お前の中にいるんだよ」と答えると、娘は怪訝そうな顔をしていました。

人の命には必ず終わりがある。しかし命の終わりが人の終わりではない。そのことを少しでも分かってもらえたらと答えたのですが、この答え方で良かったのかどうか…。自分の考えの浅さを教えられました。皆様でしたらどう答えられるのでしょうか。またこっそり教えてください。

(仲井 真裕 記)



雪の常教寺 滋賀県草津市 (仲井自坊)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook